

第135期(第2四半期)

# 株主通信

2014年4月1日～2014年9月30日



## CONTENTS

- 1 株主の皆さまへ
- 2 業績の概況
- 3 Kyodoトピックス
- 5 営業の概況
- 9 第2四半期 連結財務諸表の概要
- 10 業績の推移(連結)
- 11 株式の状況
- 13 共同印刷グループネットワーク

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当第2四半期(累計)の事業概況をご報告申し上げます。

国内経済は緩やかな回復基調をたどっていますが、一方で世界経済の減速や消費増税の影響などによる景気の停滞が懸念されています。印刷業界においても紙媒体を中心とした印刷需要の縮小により、経営環境はさらに厳しさを増しています。こうしたなか、共同印刷グループは各事業における収益管理の徹底を図るとともに、全社一丸となり事業領域拡大に向けた施策に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高はほぼ前年並みとなりましたが、利益は前年を上回りました。

情報通信技術の飛躍的な進歩に伴うメディアの多様化は、単に紙が電子に置き換わるという段階を過ぎ、私たちの生活様式やお客さまの需要構造に大きな変化をもたらしています。情報系事業分野においては、こうした変化を的確に捉え最適なソリューションを提供することで、お客さまの販売促進や業務改革のお役に立てるよう努めてまいります。また、成長を見込む生活・産業資材系事業分野には経営資源を積極的に投入し競争力のある新製品開発に力を注ぐとともに、国内・海外での高機能製品などの拡販を推進してまいります。

当グループは総力を結集して、競争力のさらなる強化を図り、新たな需要を創出し事業領域を拡大することで成長性を高め、企業価値の向上をめざしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

2014年12月

代表取締役社長 藤森康彰



## 業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀の経済金融政策を背景に緩やかな景気回復基調が続くものの、円安による原材料価格の高騰や、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響による個人消費の伸び悩みに加え、新興国経済の下振れリスクもあり、先行きは未だ不透明な状況にあります。印刷業界におきましては、紙媒体の需要減少や競争激化に伴う受注価格下落などにより、経営環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような状況のなか、共同印刷グループは中期経営方針「強みを活かし事業領域を拡大して利益を創出する」に基づき、情報系事業では、販促支援や業務支援などのサービス分野での受注拡大をめざし、トータルソリューション提案の拡大に取り組みました。

生活・産業資材系事業では、独自技術を生かした医薬品および電子部品向け高機能製品や高品質ラミネートチューブなどを中心に国内外での拡販に注力しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は451億2千4百万円(前年同期比0.0%減)となりましたが、営業利益は6億3千6百万円(前年同期比58.9%増)、経常利益は10億5千2百万円(前年同期比28.0%増)、四半期純利益は5億6千8百万円(前年同期比63.7%増)となりました。

単位:百万円

連結	前第2四半期累計 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当第2四半期累計 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	増減率
売上高	45,128	45,124	△0.0%
営業利益	400	636	58.9%
経常利益	821	1,052	28.0%
四半期純利益	347	568	63.7%
一株当たりの中間配当金	4円	4円	—

※年間では8円の配当を予定しています。

# Kyodoトピックス

生活・産業資材系事業

## 総合包装展「TOKYO PACK 2014」 で新製品紹介!

2014年10月に東京ビッグサイトで行われた「TOKYO PACK 2014 -2014東京国際包装展-」は、2年に1度開催される国内最大級の総合包装展です。本展示会へ出品し、国内外のお客さまから多数のお問い合わせが寄せられた、当社の新製品をご紹介します。



大勢のお客さまでにぎわった当社ブース デザインコンテストも実施

### ピルファアラミネートチューブ

開栓状況が目視で確認できる「ピルファプルーフ方式」のキャップをチューブ本体と嵌め合わせた、日本初のラミネートチューブです。

ラミネートチューブにおけるタンパーエビデンス\*方式は、これまで、シールを口元に貼ったり、キャップの針で突き刺して開封したりするものでした。「ピルファアラミネートチューブ」はキャップを回すだけの簡単開封で、ユーザーに負担をかけません。通常のラミネートチューブ同様の使用感を保ちながら、新しいタンパーエビデンス機構によって安心・安全を付与した、UD効果の高い容器です。

第1弾の小容量チューブ(10g前後)は、すでに医薬部外品での採用が決定し、来春以降、市場に登場の予定です。

\*開封・開栓の証拠がわかるようにすること。



開栓状況が目視で確認できる「ピルファアラミネートチューブ」

### Tパウチ・ショット

液体・粘体用ミニパウチ「Tパウチ」にスタンディング機能を付加した製品です。Tパウチの特長である、開封位置のわかりやすさと直線カット性による開封のしやすさ、内容物のこぼしにくさはそのままに、使い勝手のよさが一層向上しました。容量は、Tパウチと同様の30gに加え、60g、100gを展開してバリエーションを増やしました。かさばらず“片手でギュギュッと”絞り飲める便利な形状で、機能性飲料やサプリメントゼリーなどの機能性食品などに最適です。

Tパウチ同様、ロール原反から製袋、充填までの工程をワンユニットで行うオールインワン機構により、資材コストの削減と製造工程の効率化も実現しています。

※「Tパウチ」「Tパウチ・ショット」は、オリヒロ株式会社の使用許諾を得て販売しています。



便利なスタンディング型のTパウチ・ショット

## デジタル活用で企業の販売促進を支援

当社は企業の各種業務を効率化するためのサービスやシステムを多数提供しています。そのなかから、Web上で簡単に販促ツールが作成できる「PartsWorks®」(2014年5月に開発発表)と、手軽にカタログアプリが制作できる「SkipMaker®」(同年7月、開発発表)をご紹介します。

### パーツワークス PartsWorks®

写真や文字を組み合わせることで、パンフレットやチラシなどの販売促進ツールがWeb上で簡単に作成できる、SaaS型\*1のサービスです。流通や金融など支店や店舗を全国展開する業種における、「独自性の高い本格的なツールを作成したい」という拠点ごとのニーズと、「ツールの内容を把握し、管理したい」という管理サイドの要望に応えるために開発しました。

テンプレートへの登録はWeb上で簡単に行えます。また、テンプレートはデータベースで一元管理しているため、同じテンプレートを使用した文書は一括で修正できます。編集の自由度が増すと企業ブランドイメージの不統一などが懸念されますが、管理者や制作者など立場別の編集権限付与や承認フロー



PartsWorks®の画面イメージ

の多様化で課題を解決しました。簡単に販促ツールが作成でき、直し漏れなども防ぐシステムとして好評いただいています。

\*1 ユーザーが必要とする機能だけをサービスとして利用できるようにしたソフトウェアの配布形態。

### スキップメーカー SkipMaker®

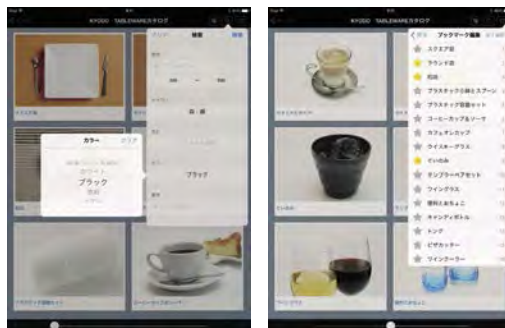
Windows搭載パソコンで使える専用ソフトと商品情報データベースから抽出した商品情報・画像、動画などのコンテンツ、画面表示レイアウトデータだけで、iPad向けの電子カタログアプリが簡単かつ短期間で制作できるシステムです。

SkipMaker®で制作した電子カタログには、掲載商品の検索やブックマーク(しおり)など閲覧性を向上させる機能だけでなく、カタログデータの配信期間設定や管理者によるデータの一括管理機能などもあります。個々のiPad上にある古いカタログデータの削除や最新カタログデータの配信もできるため、印刷媒体との同時配信や、入れ替わりの激しい商品のカタログ制作などにも適しています。

電機業界をはじめとする各種メーカーや流通業界向けの営業支援ツール、企業内でiPad向け電子カタログアプリを制作する際のシステムとして積極的に提案し、販売促進に努めています。

\* Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

\* iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。



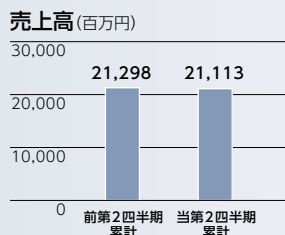
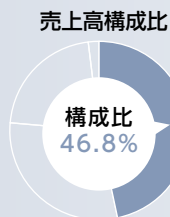
商品検索画面イメージ(左)、ブックマーク登録画面イメージ



# 営業の概況

## 出版商印部門

- 定期刊行物
- 書籍
- 一般商業印刷
- 電子出版など



連結売上高 211億1千3百万円  
(前年同期比0.9%減)

営業利益 2億5千9百万円  
(前年同期比56.5%増)

出版印刷では、受注拡大に向けてマンガをはじめとするコンテンツのデジタル化サービスの提案に取り組んだ結果、書籍は増加しましたが定期刊行物が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

一般商業印刷では、トータルソリューション提案の拡大に向けてサービスメニューの充実に努めた結果、カタログやパンフレット類は減少したものの、情報誌や販促DMなどが増加したため、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、部門全体での売上高は前期同期を下回りました。

今後、出版印刷においては、拡大する電子出版市場への対応としてコンテンツを紙とデジタルの双方へ展開するサー

ビスをさらに強化し、マンガを中心とした受注拡大をめざします。また電子書店「自己ガク®」の充実に努めるとともに、関連事業の拡大を図ってまいります。

一般商業印刷においては、トータルソリューションオフィスを中心として、お客さまの課題解決に貢献するソリューショ

ン提案に努めてまいります。ITを活用したサービスメニューを充実させるとともに、マーケティングや顧客分析などを含む販促プランの立案、事務局業務、在庫管理や物流業務など、各種メニューを複合的に組み合わせた提案を行い、受注拡大をめざします。



出版印刷



一般商業印刷(カタログ・情報誌など)

## TOPICS 五霞工場へ太陽光発電設備を導入、来年1月に発電開始予定

出版商印部門の主力工場である五霞工場の1号館に太陽光発電設備を導入します。2014年7月に着工、順調に設置が進んでおり2015年1月から東京電力株式会社へ電力を販売する予定です。なお、年間の発電量は約84万kWh、CO<sub>2</sub>削減量は約314トンを見込んでいます。

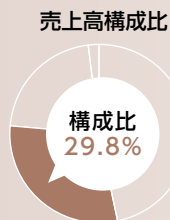
当社は、CSRの基本方針である企業行動憲章のひとつとして「環境に配慮する企業」を掲げ、持続可能な社会の構築をめざした事業活動に努めています。今回の導入は、国をあげての再生可能エネルギー利用促進を後押しすることで、こうした取り組みをより一層推進するものです。



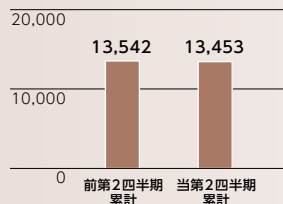
五霞工場の1号館(左)と設置が進む太陽光発電設備

## ビジネスメディア部門

- ビジネスフォーム
- データプリント
- BPO業務
- 通帳・証券類
- 各種カードなど



売上高(百万円)



連結売上高 134億5千3百万円  
(前年同期比0.7%減)

営業利益 3億6千万円  
(前年同期比41.7%増)

ビジネスメディア部門では、データプリント事業の拡大とBPOの受注拡大に向けた提案活動に努めた結果、データプリントやBPOを含むビジネスフォームが増加しましたが、抽選券などの証券類やIC乗車券をはじめとするICカードは減少しました。

以上の結果、部門全体での売上高は前年同期を下回りました。

当部門では、BPOの受注拡大をめざし、お客さまの業務効率向上につながるソリューション提案と受注体制の整備に取り組んでいます。

2013年8月には、大規模災害などに備えた事業継続の有効性を高めるために、川島ソリューションセンターのデー

タ処理事業に関するBCMS国際認証を取得しました。個人情報などの重要な情報の扱いに関しては現在の仕組みをもう一度見直し、より万全な体制の構築に努めてまいります。



ビジネスフォームなど

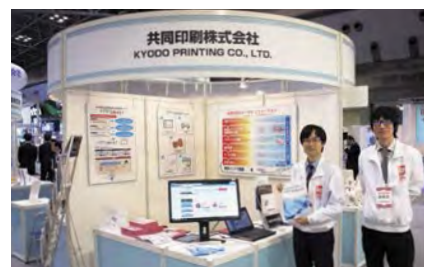


証券類

### TOPICS ロジスマート 販促物の在庫・物流管理システム「LOGISMART®」を TOKYO PACK 2014内 医薬品包装パビリオンで紹介

LOGISMART®は、販促物や帳票類の在庫管理と発注・配送がオンライン上で行え、各営業拠点の管理業務を大幅に効率化するシステムです。2012年に独自開発し、注文内容の集約や配送などの手続き短縮、円滑な在庫・配送管理などが評価されてきました。

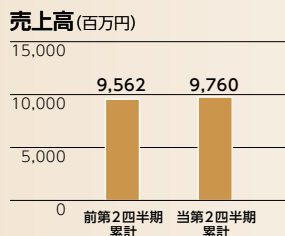
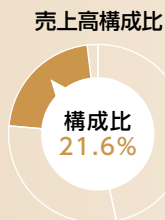
金融業界をはじめ大手日用品メーカーに採用いただいている本システムの利便性を、より多くのお客さまに知っていただくため、10月に開催された「TOKYO PACK 2014」の「医薬品包装パビリオン」へ出展しました。



LOGISMART®を中心に、マーケティング戦略から販促施策までの各種ソリューションを紹介しました

## 生活・産業資材部門

- 紙器
- 軟包装
- チューブ
- 建材
- 金属印刷
- 高機能製品など



連結売上高 **97億6千万円**  
(前年同期比2.1%増)

営業利益 **1億5千8百万円**  
(前年同期比54.0%増)

生活・産業資材部門では、医薬品業界や電子部品業界に対して「モイストキャッチ®」などの高機能製品の提案を進めるとともに、化粧品業界に対して当社開発製品であるフルプリントラミネートチューブやオーバルラミネートチューブの拡販に努めました。

以上の結果、建材製品は減少しましたが、紙器やチューブ、産業資材が増加し、軟包装も堅調に推移したため、部門全体での売上高は前年同期を上回りました。

当部門では、チューブやラップカートンなど既存分野での市場シェア拡大と、高機能製品の拡販による産業資材事業の拡大に取り組んでいます。チューブでは、新たに稼働を始めた相模原工場を

活用し歯磨き用チューブ市場でのシェア拡大に努めるとともに、当社が開発したフルプリント仕様のオーバルラミネートチューブを、ハンドクリームや日焼け止めクリームをはじめとする化粧品用に拡販してまいります。産業資材では、「モイストキャッチ®」「オキシキャッチ®」



紙器・軟包装・チューブ・金属印刷など



「オキシキャッチ®」

### TOPICS 腐食性ガス吸着フィルムシリーズ第2弾「酢酸ガス吸着フィルム」を開発

2014年4月、悪臭や腐食性のある酢酸ガスを吸着する「酢酸ガス吸着フィルム」を開発しました。特長は、発生した酢酸ガスのみを吸着し、長期的に吸着機能を維持することです。本フィルムの使用で酢酸ガス臭の不快感を解消するとともに、酢酸ガスによる製品の劣化も防ぎます。脱臭剤が不要となるため、脱臭剤破損時の粉末飛散や製品汚染の危険もありません。

4月に東京ビッグサイトで開催された「高機能フィルム展」に参考出展し、国内外のお客さまに注目いただきました。現在、サンプル出荷を開始し、お客さまの評価が始まっています。



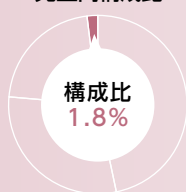
サイズや厚さのカスタマイズが可能です



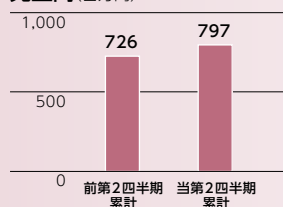
## その他

- 不動産管理
- 物流業務など

売上高構成比



売上高(百万円)



連結売上高 **7億9千7百万円**  
(前年同期比**9.8%**増)

営業利益 **8千3百万円**  
(前年同期比**8.5%**減)

連結子会社における物流業務、保険取扱業務、不動産管理業務が主たる業務です。

物流業務などの増加により部門全体の売上高は前年同期を上回りました。



共同物流株式会社

## TOPICS 当社が製造に携わった製品が、各種コンクールで賞を受けました

プロモーションツールの代表選手「POP広告」の日本最大・唯一のコンテスト  
第44回日本プロモーション・マーケティング協会展(2014・44th JPM Creative Design Show)

### ●化粧品部門 銀賞

- 株式会社コーサー「肌極 秋後アウトスペース用演出ツール」
- 株式会社コーサー「コスメデコルテ 秋前乳液訴求台」
- 株式会社コーサー「コスメデコルテ 春専門店演出ツール」
- 株式会社コージー本舗「ドーリーウィング フロアー販売台」

### ●GPAアワード/POP部門 銀賞

- オムロンヘルスケア株式会社「血圧計W900集合展示台」



コマーシャル・パッケージの優秀性を競う商品包装展  
第53回 2014JPC (Japan Packaging Competition)

### ●日本印刷産業連合会会長賞

- まるか食品株式会社  
「ペヤング 超大盛りそば」  
“ハーフ&ハーフ”激辛/イカスミ



国内で刊行された本から、印刷・製本・加工技術に優れた製品を評する  
第48回 造本装幀コンクール

### ●審査員奨励賞

- 株式会社小学館「てんじつき さわるえほん さわるめいろ」  
※第61回 産経児童出版文化賞大賞も受賞
- 株式会社旺文社「旺文社国語辞典 第十一版 小型版」

### ●日本印刷産業連合会会長賞

- 株式会社講談社「xxxHOLiC 胡蝶ノ夢」



## 第2四半期 連結財務諸表の概要

前期……………2013年4月1日から2014年3月31日まで  
 前第2四半期 ……2013年4月1日から2013年9月30日まで  
 当第2四半期 ……2014年4月1日から2014年9月30日まで

単位:百万円 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

### ●連結貸借対照表

	前期末	当第2四半期末
<b>資産の部</b>		
流動資産	46,026	44,789
固定資産	49,978	50,300
有形固定資産	37,378	36,858
無形固定資産	1,237	1,347
投資その他の資産	11,363	12,094
<b>資産合計</b>	<b>96,004</b>	<b>95,089</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	29,817	28,865
固定負債	15,112	14,197
<b>負債合計</b>	<b>44,930</b>	<b>43,063</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	48,785	49,174
資本金	4,510	4,510
資本剰余金	1,742	1,742
利益剰余金	43,078	43,467
自己株式	△ 545	△ 546
その他の包括利益累計額	2,283	2,845
その他有価証券評価差額金	2,665	3,135
為替換算調整勘定	15	13
退職給付に係る調整累計額	△ 397	△ 302
少数株主持分	5	6
<b>純資産合計</b>	<b>51,074</b>	<b>52,026</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>96,004</b>	<b>95,089</b>

### ●連結包括利益計算書

	前第2四半期	当第2四半期
<b>少数株主損益調整前 四半期純利益</b>	<b>346</b>	<b>570</b>
<b>その他の包括利益</b>	<b>738</b>	<b>561</b>
その他有価証券評価差額金	729	468
為替換算調整勘定	9	△ 2
退職給付に係る調整額	—	94
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
<b>四半期包括利益</b>	<b>1,085</b>	<b>1,131</b>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,085	1,130
少数株主に係る四半期包括利益	△ 0	1

### ●連結損益計算書

	前第2四半期	当第2四半期
<b>売上高</b>	<b>45,128</b>	<b>45,124</b>
売上原価	38,077	37,801
<b>売上総利益</b>	<b>7,050</b>	<b>7,322</b>
販売費及び一般管理費	6,650	6,686
<b>営業利益</b>	<b>400</b>	<b>636</b>
営業外収益	551	541
営業外費用	129	125
<b>経常利益</b>	<b>821</b>	<b>1,052</b>
特別利益	20	4
特別損失	107	101
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>734</b>	<b>954</b>
法人税等	387	384
<b>少数株主損益調整前 四半期純利益</b>	<b>346</b>	<b>570</b>
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 0	1
<b>四半期純利益</b>	<b>347</b>	<b>568</b>

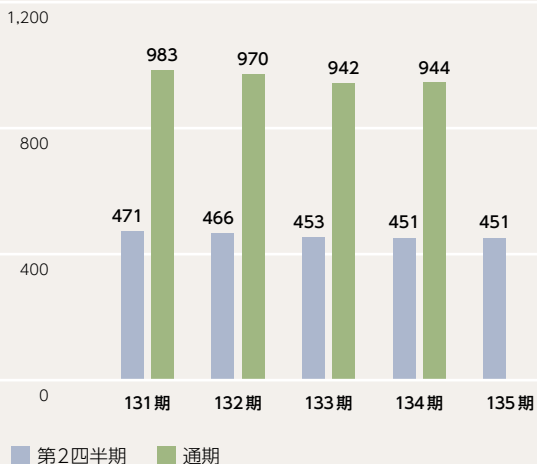
### ●連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期	当第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,470	2,515
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,504	△ 2,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,074	△ 1,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 101	△ 1,642
現金及び現金同等物の期首残高	13,077	13,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,976	11,628

# 業績の推移 (連結)

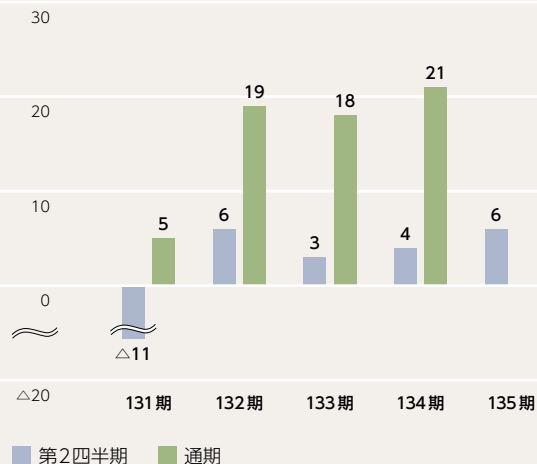
## 売上高

(億円)



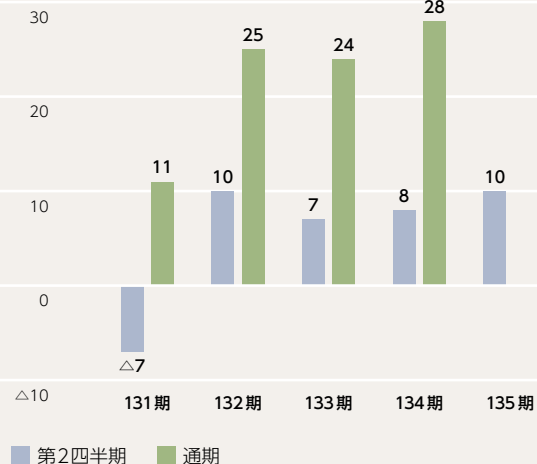
## 営業利益

(億円)



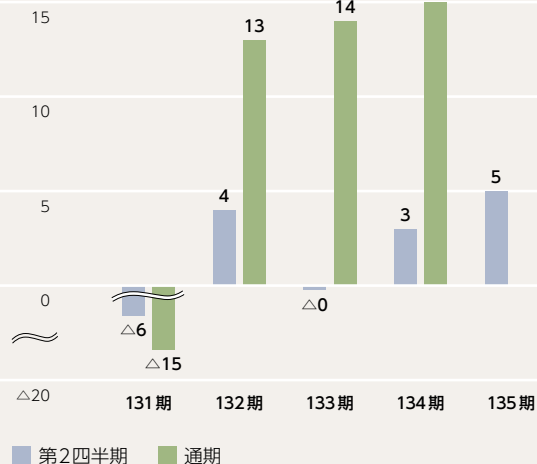
## 経常利益

(億円)



## 当期純利益

(億円)



# 株式の状況 (2014年9月30日現在)

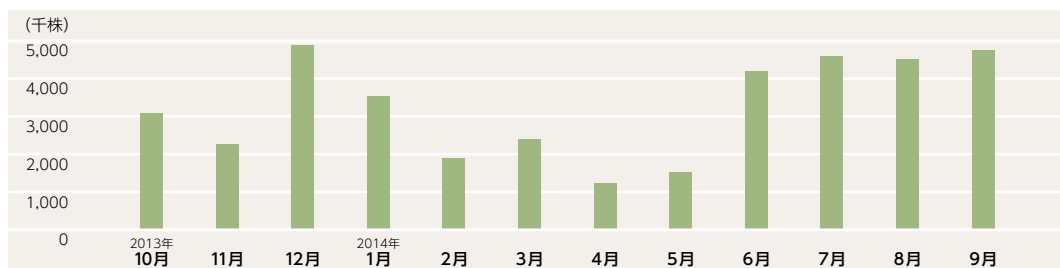
## ● 株価および売買高の推移 (東京証券取引所)

### 株価の推移

(終値ベースの高低)



### 売買高の推移



## ● 大株主の状況

氏名または名称	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	11,971	13.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・DIC株式会社口)	8,541	9.47
東京インキ株式会社	5,830	6.46
株式会社みずほ銀行	2,831	3.14
東洋インキSCホールディングス株式会社	2,169	2.40
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	2,065	2.29
朝日生命保険相互会社	2,000	2.22
共同印刷従業員持株会	1,884	2.09
三井住友信託銀行株式会社	1,482	1.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,096	1.22

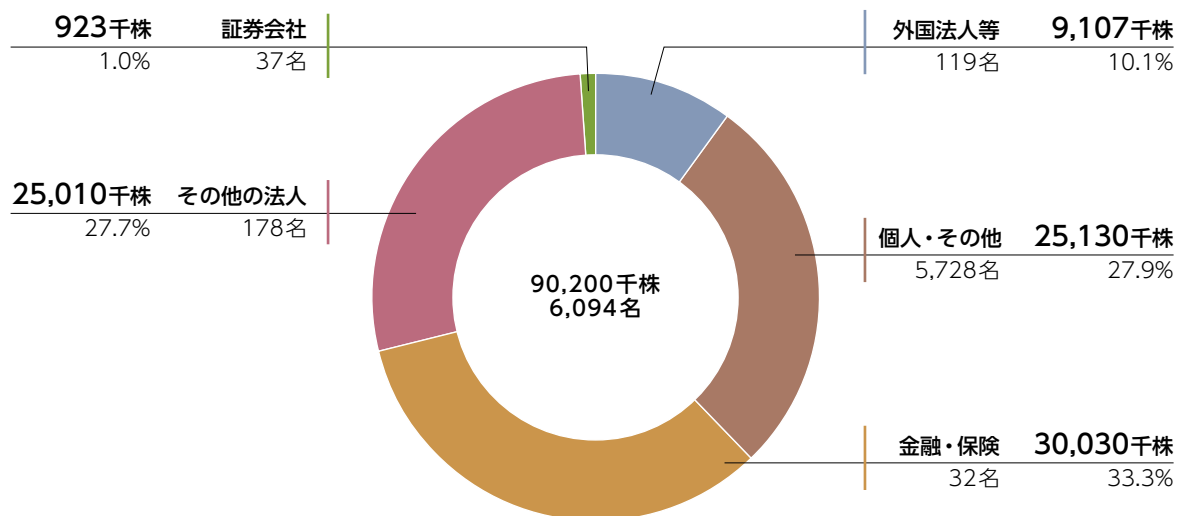
※当社は自己株式2,368,551株を保有しておりますが、上記大株主から除外しています。



## ●株式の状況

発行可能株式総数	360,800,000株
発行済株式総数	90,200,000株
単元株式数	1,000株
株主数	6,094名

## ●所有者別株式分布状況(株式数比率)



# 共同印刷グループネットワーク

会社商号	共同印刷株式会社 (Kyodo Printing Co., Ltd.)
創業年月日	1897(明治30)年 6月25日
設立年月日	1925(大正14)年12月26日
資本金	45億1千万円
本社	〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12 Tel. 03-3817-2071 (CSR本部コーポレートコミュニケーション部)

## ●役員紹介

### 取締役

代表取締役会長	稲木 歳明
代表取締役社長	藤森 康彰
専務取締役	三吉 幹夫
常務取締役	清水 市司
常務取締役	大澤 春雄
常務取締役	人見 実
常務取締役	井戸 一喜
常務取締役	大久保隆司
取締役	齋藤 文孝
取締役	今村 敏夫
取締役	梶山 正義
取締役	渡邊 秀典
取締役	里村 憲治
取締役	汲井 隆

### 監査役

常勤監査役	小笠原 誠
常勤監査役	宮城 忠雄
社外監査役	小澤 優一 弁護士
社外監査役	公文 敬

## ●製造工場およびグループ会社

### 出版商印部門

小石川工場  
五霞工場  
越谷工場 (共同オフセット株式会社)  
苫小牧工場 (株式会社コスモグラフィック)  
小石川プロセス株式会社  
共同印刷製本株式会社  
デジタルカタバルト株式会社

### ビジネスメディア部門

鶴ヶ島工場  
川島ソリューションセンター  
京都工場 (共同印刷西日本株式会社)

### 生活・産業資材部門

小田原工場  
相模原工場  
和歌山工場  
守谷第一工場  
守谷第二工場  
磯原工場 (常磐共同印刷株式会社)  
共印商貿 (上海) 有限公司  
共同印刷 (ベトナム) 有限会社

### その他

共同物流株式会社  
共同総業株式会社  
共同印刷ビジネスソリューションズ株式会社  
(関連会社)  
共同製本株式会社

共同印刷のオリジナル技術「彩美版®」

## クロード・モネ「睡蓮、朝」 株主さまだけに特別価格でご案内します

2014年は「印象派生誕140周年」の記念イヤーです。オランジュリー美術館の「睡蓮」連作大装飾画はモネ芸術の集大成として描かれた記念碑的作品です。友人で元首相クレマンソーの働きかけで、第一次世界大戦の終結を記念してフランスに寄贈されたという歴史的な価値もあります。オランジュリー美術館は「睡蓮」連作大装飾画を収蔵するため、ナポレオン3世のオレンジ園を改造し創設した「印象派の殿堂」です。本作品は第一室に飾られた「朝」の全面画より特にニュアンス豊かな左半面をフランス国立美術館連合・グランパレ(RMN-GP)の画像協力を得て制作しました。今回は期間限定で、「株主通信」をご覧の株主さまに、特別価格でご案内します。

受付期間:

2014年12月9日から  
2015年2月28日まで  
期間中本社1Fロビー  
に作品を展示します。

彩美版® クロード・モネ「睡蓮、朝」 限定200部制作



Photo © RMN-Grand Palais (musée de l'Orangerie) / Michel Urtado / distributed by AMF-DNPartcom

### 【仕様体裁】

原画 オランジュリー美術館  
(Musée de l'Orangerie)所蔵

監修 千足伸行  
(美術評論家/成城大学名誉教授)

技法 彩美版®, シルクスクリーン手刷り  
※「彩美版®」は、ハンドメイドのよさと  
最新の画像処理技術を融合させた最  
高レベルの版画(複製画)技術です。

用紙 キャンパス

額縁 木製アコレーション金箔額(国産  
ハンドメイド)、アクリル付き

画寸 天地28.3×左右91cm(30号大)

額寸 天地38.2×左右100.8cm

重量 3.3kg

特別価格 103,600円(税込) 希望小売価格 138,240円(税込)

※特別価格は希望小売価格に対する割引後の価格です。

※返品は、商品到着後8日以内、返品送料はご注文者さまご負担をお願いします。

※限定品につき完売となることがございます。予めご了承ください。

※「彩美版®」は共同印刷株式会社の登録商標です。

美術をもっと楽しむための  
ウェブマガジン  
「美術趣味」のご案内

美術  
趣味 BIJUTSU  
SHUMI

<http://bijutsu-shumi.com/>

こちらのサイトでは、左記の商品  
のほかにも多数の商品をご紹介します。  
是非ご覧ください。

< 切りとり線 >

### 高級美術複製画 注文書

共同印刷株式会社 行

下記のとおり注文します。

作品名 彩美版® クロード・モネ「睡蓮、朝」	金額 103,600円
ふりがな	
お名前(会社名)	印
TEL	FAX
※お振込名義がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。 ( )	
納品先ご住所 〒	
TEL	
※お届け先名がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。	
お名前(会社名)	

### ご注文方法

左の注文書にご記入の上、FAX送信、  
または下記住所あてにご郵送ください。

共同印刷株式会社

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12

FAX 03-3817-6702 24時間受付

### お支払方法(代金前払い/口座振込のみ)

お申し込み受け付け完了後、当社よりお支払方法をご連絡します。商品をご入金を確認次第発送します。

※振込手数料はご注文者さまでご負担ください。送料・梱包料は、当社にて負担します。(海外発送は別途相談)

### 本件についてのお問い合わせ

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

TEL 03-3817-2071

Email koho@kyodoprinting.co.jp

# 株式のご案内

**決算期** 3月31日  
**定時株主総会** 毎年6月  
**株主確定基準日** 定時株主総会・期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日  
その他必要あるときは予め公告する日  
**公告方法** 電子公告  
ただし電子公告による公告ができない場合は、  
日本経済新聞に掲載して行います。  
公告およびIR情報などを掲載するWebサイト(URL)  
<http://www.kyodoprinting.co.jp/>

**上場証券取引所** 東京証券取引所  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
**郵便物送付先** 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
**電話照会先** 電話0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各  
支店で行っています。

## お知らせ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主さまは大切に保管ください。

以上